

平成25~27年度 横須賀市教育委員会研究委託フロンティア

横須賀市幼稚園教育課程研究会

人とのかかわりを大切にした保育の充実

～特に小学校教育との充実した
連携のあり方を中心に～

横須賀市立諏訪幼稚園
平成27年10月23日(金)



研究経過

- 長年にわたる幼小交流活動実践の積み重ね
- 平成18・19年度、神奈川県幼稚園実践推進園の指定を受け、校種間の連携についての研究を開始
- 平成25年度より 横須賀市教育委員会研究委託フロンティアの指定を受け、小学校と幼稚園の連携についての研究を開始

テーマ 人とのかかわりを大切にした保育の充実
～特に小学校教育との充実した連携のあり方を中心に～

平成25～27年度 研究目的

異年齢交流活動を充実させることにより
児童と幼児の豊かな心の育成をめざす

小学校と幼稚園の教諭がそれぞれの教育内容
指導方法などについて相互に理解し合う

研究内容

幼児と児童が交流できる場を作る
(異年齢のかかわり)

方法1 学びや発達のつながりを考える

◎教師同士の相互理解を図る

- ・交流前後の幼小合同の話し合い
- ・幼小合同研修会

◎低学年担任と幼稚園教諭の話し合いを行う

◎接続期(卒園期・入学期)を配慮した取り組み

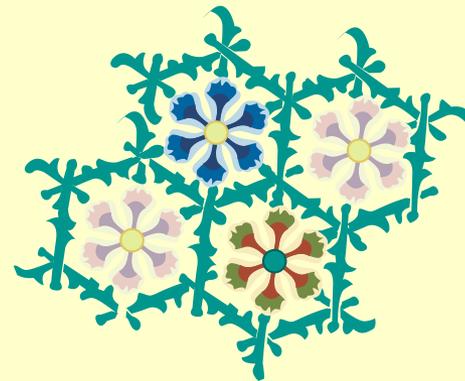
◎幼小合同で「目ざす子ども」の話し合い

◎幼小連携の担当・組織化



方法2 幼稚園と小学校の交流の流れ

- ・幼小担当者(幼稚園とのパイプ役)と各学年で**組織作り**
- ・年度初めに**交流計画の提案**(職員会議)
- ・各学年・クラス・各委員会に交流可能な月・教科・領域など各学年に希望を聞き、**幼小交流年間計画**を作成する
- ・各学年・クラスは交流の実施前後に**打ち合わせ**を行う
(特に低学年担任)
- ・幼小互いのねらいの把握・支援の方法・配慮事項
→**幼小合同指導案作成**へ
- ・活動後, 振り返り・考察
- ・年度末に振り返り



平成27年度 幼小年間交流計画

諏訪小学校・諏訪幼稚園

行事

学年 教科・単元名

委員会・その他

4月

★避難訓練

5月 ★運動会

6月 ★出迎え訓練

7月

10月

11月 ★すわにこまつり

★ コミコミスクール

1月

2月

休み時間などの自然な交流

2年生 チューリップの球根おこし

5年生 すわっ子ソーランを踊ろう

3年生 運動会競技

6年生 応援の仕方

1年生 一緒に歌おう

2年生 トウモロコシの皮むき

1年生 アサガオの種プレゼント

1年生 秋まつり

1年生 チューリップ球根植え

2年生 むかし遊び

1年生 就学前給食体験

1年生 学校紹介

学校探検

5年生 一緒にあそぼう

●図書委員会

●音楽集会

●図書委員会

●音楽集会

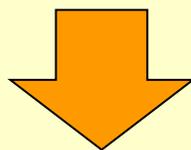
いろいろな交流の場





方法3 子どもの育ちを記録する

- 交流記録(写真・メモ)
- 合同指導案(考察)



園児の育ちの見取り(価値づけ)



活動の見取り(1年生との交流での学び・育ち)



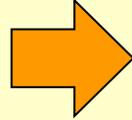
1年生が雑巾のしぼり方を
教えてました。
幼稚園に帰ってくるとさっ
そく幼稚園の水道で練習し
た子どもたちです。



拭き掃除の仕方を見て帰っ
てくると、1年生がしていたよ
うに、膝をあげ拭き始めた子
どもたちです。

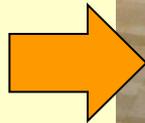


普段は、掃除には意欲的な姿を見せなかった子
どもたちが、交流後「私もお兄さんたちみたいに
掃除してみたい。」と1年生に憧れの気持ちを示し
ました。その気持ちを温めていきながら卒園期を大
切に過ごし、不安を少しでも軽くしていきながら、
小学校に滑らかに接続していきたいと思ひます。



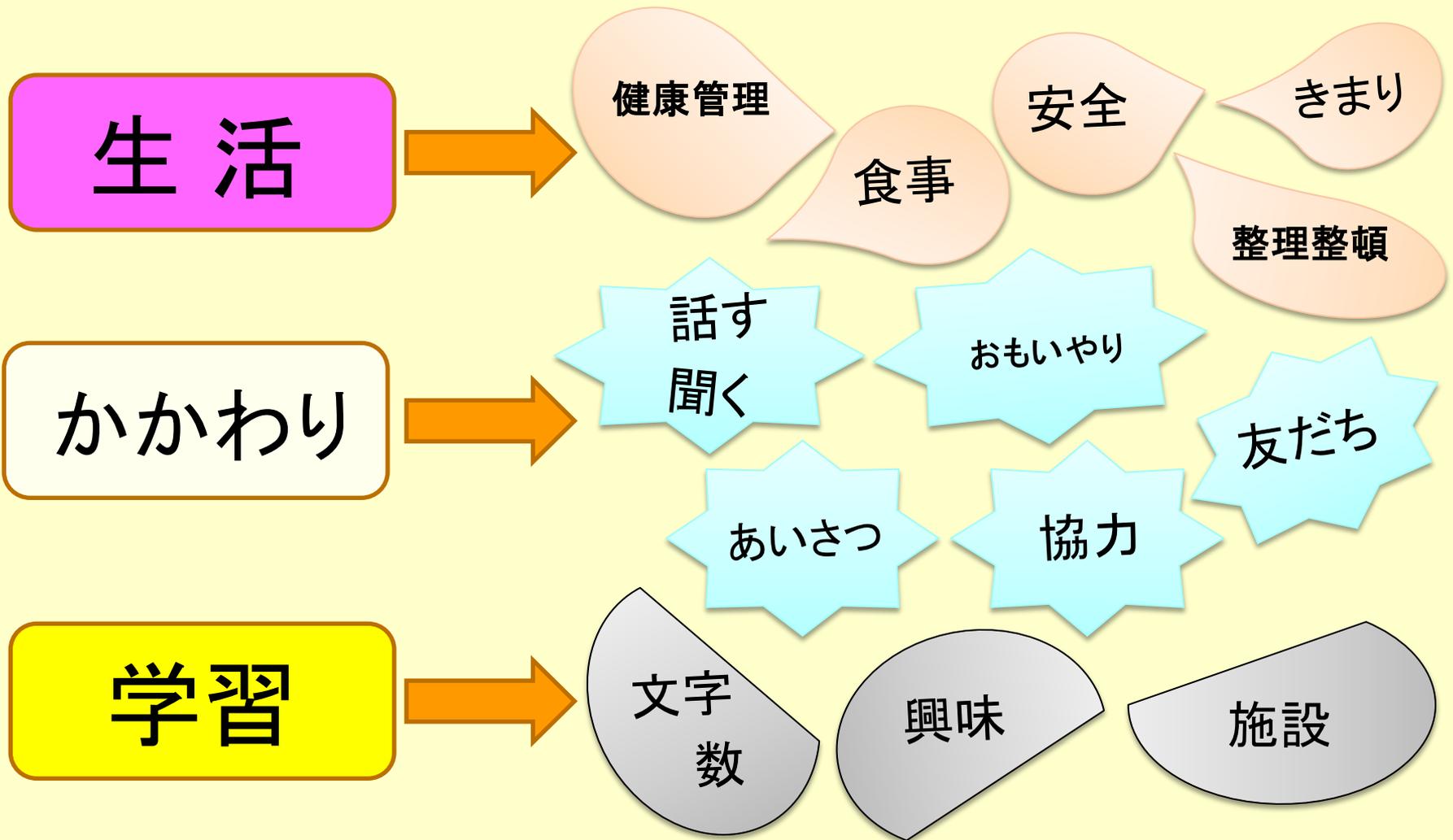
机と椅子を使わせてもらって、鉛筆で線なぞりをさせていただきました。字に興味を持った子どもたちは、手紙を書いたり、しりとり遊びをしたりと遊びが広がりました。

白衣のたたみみ方を教えてもらった子どもたちは、それ以来、机の上でたたむようになりました。1年生の姿が鏡になっています。



今まで、字に興味を持っていなかった子も、1年生にお手本を見せてもらったことで、チャレンジしようとしたり、1年生に褒めてもらったことが嬉しくて、自分でもやってみようという気持ちが強くなってきました。その興味、関心、意欲を大切に、交流後も支援していきたいと思います。

幼稚園で就学前に育てたい力



本日の交流で何が育ち、何を学んだか？

幼稚園児

- お兄さん、お姉さんに親しみを持ち、かかわれるようになってきた。(安心感の芽生え)
- 異年齢での遊びや活動が楽しい ワクワク・ドキドキの気持ちが育ち、目が輝いている。
(好奇心や探究心の育ち)
- 3年生の先輩たちの姿を見て、様々なことを吸収し、真似たり、一緒にやろうとしたりしている姿が見られた。(学習)
- 優しく、いろいろなことができる小学生に憧れの気持ちを持つようになってきている。
(小学校生活への憧れや期待)

3年生児童

- 園児の立場に立って考え、園児が楽しめるように、自分たちができることを、考えている。
(思いやり)
- 園児の活動する様子を見て、自分たちが園児の役に立っていることを知り、自己有用感を持つ。
(自己有用感)
- グループで相談し、活動し計画する。
(計画性)

就学前教育と小学校教育との交流を進めるためには、何が大切か？

- なぜ、就学前教育が大切なのかを、幼小の教諭が交流をして共通理解を持つ。
- 幼稚園教諭は、小学校入学期の小学校の受け入れや児童の生活、学習の様子をふまえて、卒園期を大切に過ごす。(連続した指導計画の工夫・アプローチカリキュラム)
- 小学校教諭は、幼稚園教育を理解し、滑らかな接続ができるように、就学前の園児との交流や活動を通して、園児の実際の姿を把握する。入学期に役立てる。
(スタートカリキュラム)
- 幼小連携を通して、両者が育ち学び合えるような活動や体験ができるように、教師同士も密に話し合える連携の体制作りが必要である。

幼小連携・交流の成果

1. 教師間交流

- ・ **打ち合わせ**を持つことで、幼小連携の必要性について共通理解を持つことができるようになってきた。
- ・ **交流年間計画**を立てることにより、計画的・継続的に交流ができるようになってきた。（教育の質の高まり）
- ・ 教師間の **人間関係**も密になり、伝え合えるようになってきた。（お互いの教育を理解するうえでも教師間の交流は重要）

2. 子ども同士の交流

- ・ 小学生が自分の **憧れの存在**になったり、小学生からたくさんの **刺激を受けたり**、親しみを持って人にかかわれるようになってきた。
- ・ 園児は、交流体験から **安心感**が芽生えたり、小学生も **自己有用感**が芽生えたり、**自己の成長を振り返ったりする**などの姿が見られた。
- ・ 小学校生活の不安が園児だけでなく **保護者の不安も軽減された**。

課題

- 発達のつながりを考えるためにも、幼小の園児・児童の交流を続ける中で、幼小教師の相互の理解を深め、互いの目標に迫れるように、今後も十分に打ち合わせをし、計画的に継続していきたい。
- いろいろな子どもたちと対応する中で、交流による子どもの育ちを見逃してしまいがちだが、職員間での情報交換を密にし、多くの職員で見守っていかなくてはならないことを再確認した。
- 交流後、互いの教師が園児・児童の成長を認め合ったり、振り返ったりし、話し合いの場を密に設けていきたい。
- 交流後の子どもたちの姿や活動を大切に、子どもたちの育ちや学びを小学校につなげていきたい。
- 小学校教育を意識しすぎて、小学校教育の前倒しや早期教育にならないように、幼稚園教育要領を十分に確認しながら今後も取り組んでいきたい。